



つちだよしはる絵本原画展

# みんなの図書館 part 2

10周年!

開催期間 2016 7/23(土) ~ 8/28(日)



特別展示「絵本ストーリーボックス」はすべてつちださんの手作り！立体的な作品で、物語の中に引き込まれます。日ごとに開くボックスが変わりますのでお楽しみに！▼



▲今年6月の交流活動で制作した、つちださんと庄内町の小学生とのコラボレーション作品を展示中！

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

⇒休館日です

図書館カレンダー

★開館時間 平日 午前9:00~午後7:00  
土日 午前9:00~午後5:00

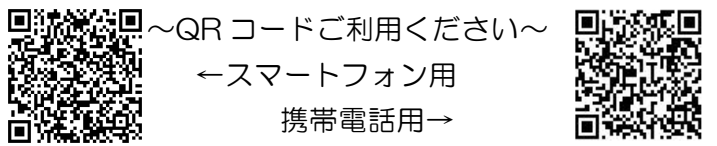
8/14(日)まで夏休み特別貸出(10冊)です

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館  
43-3039  
分館 56-3308

図書館 HP → <http://www.town.shonai.lg.jp/library/>



# 図書館職員イチオシ！

## つちだよしはるさんの絵本

### 『どんどんむらのなつ』 つちだよしはる/さく(宝島社)



どんどんむらにひっこしたくまのゴンがむらのたんけんに出かけ、ものしりうさぎのジリジリさんや料理じょうずなかばのベッカおばさんに出会い、ザリガニの正しい飼いやイチゴのジャムづくりを教えてください。発明家のぶたのセカセカさんの家にはおもしろいロボットがいっぱい。

土田義晴さんの絵本の中には、こどもたちの大好きなワクワク感いっぱいのお宝が次から次と出てきます。きっと子供たちの冒険心を満足させてくれるでしょう。夏にふさわしい絵本です。



### 『おとうさん』 つちだよしはる/さく(小峰書房)

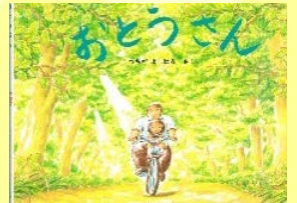


初めて手にした時は号泣、また号泣…今でも、ページをめくるたびに涙腺が緩みます。

見覚えのる庄内の海や川、木々や風を感じながら読み進むうちに、主人公の女の子の心の動きに切なくなり、おとうさんのやさしさ、人間としての大きさに心が震えます。

親子の絵本。こころの絵本。いのちの絵本。絵本ってスゴイ！と思える1冊。

大人こそ絵本を読んで欲しいな、と感じる絵本です。



### 『アイのことはのコップ』 つちだよしはる/作・絵(PHP 研究所)

障害を持ち、言葉が出にくいアイちゃん。お母さんは通学途中の車の中でたとえ返事がなくてもたくさん声を掛け、アイちゃんの好きな鳥の絵本をいっぱい読んで聞かせました。ある日、お母さんと二人でふと降り立った田んぼ道で白鳥を見たアイちゃんが！あきらめず、焦らずにあったかい言葉を掛け続けてきたことが伝わったんだあとジーンとしてしまいました。アイちゃんを膝の上に抱いて絵本を読むシーンは幼い頃の母との



思い出がよみがえり懐かしくホッとするような大好きな場面です。図書館でもそんな親子の姿を見かけるたびにとてもうれしくなってしまいます。



### 『森のおくりもの』 土田義晴/さく(佼成出版社)

今から20年以上まえに発表されたおはなし。山のなかの家にくらすおとこのこは、のほらでバイオリンの練習をしています。とおにかかった動物たちはみな、ひどい音色に逃げていってしまいますが、おとこのこはまいにち練習をつづけます。でもある日、えんそうを聞いた1頭のクマが立ちどまります。おとこのこはいったいどうして、ひとりでバイオリンを弾きつづけるのでしょうか……？



登場人物たちはとても無口ですが、やさしい気持ちのつまったおはなしです。どの頁もおだやかな色とていねいに描かれた草花に満ちています。

そうそう、主人公のおとこのこは、今回の原画展会場でも2か所に登場していますよ。



### 『14の心をきいて』 つちだよしはる作/絵(PHP 研究所)

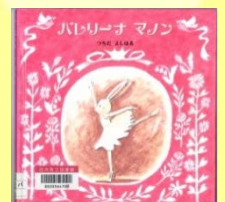
主人公のゴン太くんは元気がよい、耳の聞こえにくい男の子。そんな子がろう学校の先生やクラスメイトと楽しい学校生活を送る様子が描かれた絵本です。見どころは、中盤のとぼとぼ歩くゴン太くん。セリフや文章が一切ないにも関わらず、初めて読んだ時、ゴン太君の想いがまるで自分の事のように感じられて、激しく胸が締め付けられました。私にとって、何度読んでも元気がもらえる素敵な1冊です。



### 『バレリーナ マノン』 つちだよしはる/さく(佼成出版社)

女の子にとって誰もがあこがれるバレリーナの物語で表紙のかわいらしさについてひかれました。

マノンにとって一番のよろこびはお母さんのえがおをみることです。そのためにだれよりもたくさん練習して、習ったことをお母さんの前でおどってみせてくれます。マノンのおどりをうれしそうに見ているお母さん。マノンがバレエにこめた思いに心があつたります。



今回ご紹介した本はすべて当館にございます。貸出し中の場合は予約もできますので、お気軽にお問合せください★

